

受	験	番	号

◎ 次の分野Ⅰ～Ⅳの十五問のうちから、二分野以上にわたり五問を選び、解答しなさい。

○ 解答用紙は、一問ずつ別紙を用いること。

○ 解答用紙冒頭の□内に、次の例のように、分野番号と問題番号を記すこと。

(例) Ⅱ⑤

#### 分野Ⅰ

- ① 『古事記』上巻について知るところを述べなさい。
- ② 『源氏物語』第二部について知るところを述べなさい。
- ③ 鎌倉時代以降に纏纂された勅撰和歌集について、一つを選び、知るところを述べなさい。
- ④ 蕪村の俳諧について知るところを述べなさい。

#### 分野Ⅱ

- ⑤ 明治期の小説で用いられた「雅俗折衷体」とはどのような文体か、説明しなさい。
- ⑥ 「私小説」とはどのようなジャンルか、具体的な作者名や作品名を挙げながら説明しなさい。
- ⑦ 三島由紀夫について説明しなさい。
- ⑧ 茨木のり子について説明しなさい。

#### 分野Ⅲ

- ⑨ 古典語の「謙譲語」と現代語の「謙譲語」の違いを説明しなさい。
- ⑩ 古典語の上二段活用動詞「起く」が現代語の上二段活用動詞「起きる」に変化する過程を説明しなさい。
- ⑪ 「主語」と「主題」について、日本語の例を挙げながら説明しなさい。
- ⑫ 「破裂音」と「破擦音」の違いを説明しなさい。

#### 分野Ⅳ

- ⑬ ニューカムと呼ばれる外国人の中から代表的な集団を一つ選び、その在住外国人について説明しなさい。
- ⑭ 「太郎はA酒猪です。毎日部活にB行きます。」という例文に関する次の問題に答えなさい。
  - 1 (ア) Aの品詞を答え、その品詞だと判定した理由を述べなさい。
  - 2 (イ) Bは動詞だが、その活用の種類と活用形を書きなさい(日本語教育/国語のどちらの呼び方でもかまわない)。
- ⑮ 教授法の中から自分が信頼しているものを一つ取り上げ、それについて説明しなさい。また、なぜ自分はその教授法を信頼しているのか、理由も述べなさい。

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 修士課程 >

日本語日本文学専攻 ( 外国語 (英語) )

2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題

受験番号

以下の文章は、文部科学省の『令和5年版科学技術・イノベーション白書』における「Various Initiatives for Overseas Expansion (海外展開を視野に入れた様々な取組)」の一節を一部改変したものである。これを読んで、後の【問1】から【問5】に答えなさい。(出典『White Paper on Science, Technology, and Innovation 2023』)

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

--



(以下省略)

【問1】下線① “The environment surrounding water resources” (水資源を取り巻く環境) を悪化させている要因を三つ日本語で説明しなさい。

【問2】下線②を日本語に訳しなさい。

【問3】下線③ “the reverse osmosis membrane technology” (逆浸透膜技術) が抱える課題を二つ日本語で説明しなさい。

【問4】下線④を日本語に訳しなさい。なお、“foulants”は「汚れ」の意味である。

【問5】下線⑤ “many local companies” (地元企業) は、逆浸透膜技術を使って、何ができると提案していますか。飲み水の生成以外に何ができるか日本語で説明しなさい。

以上

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 修士課程 >

哲学専攻 ( 専門科目 )

2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題

次の問題 (1) ~ (6) の中から一問選択して1200字程度で答えなさい。なお、選択した問題番号を解答の冒頭に記すこと。

- (1) アリストテレスの配分的正義について説明しなさい。
- (2) 「芸術のための芸術 ( l'art pour l'art )」という言葉について説明しなさい。
- (3) 「言語ゲーム」という概念の意義について説明しなさい。
- (4) 生命の尊厳と生命の質について論じなさい。
- (5) 本居宣長の「もののあはれ」論について説明しなさい。
- (6) 煉獄について論じなさい。

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究科 < 修士課程 >

哲学専攻 ( 外国語 (英語))

2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題

(問題) 以下の英文を日本語に翻訳しなさい。解答は解答用紙に記すこと。

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



(*The Prince* by Nicolo Machiavelli; translated by W. K. Marriott)

\*prince 君主



I 左掲の史料に関する次の設問に答えよ。

史料① 『大乗院寺社雑事記』長享二年七月三日条。

抑任攝任任槐右大将殿、当月佳例月也、仍自兼日雖有其沙汰、大饗已下大儀、其上在陣之間、難治之由、種々有固辞、雖然、自東山殿堅依被申、任槐事許有御領状、仍勸修寺大納言尋日次、廿五日廿八日云々、可為今日之由、必定儀、依惣用未下、諸司等申難治之由、仍延引了

※任槐…大臣に昇進すること 室町殿右大将…足利義尚

大饗…大臣昇進に付随する儀礼 東山殿…足利義政

史料② 『実隆公記』同年三月二一日条。

自今年大納言殿一向世務可有御存知、仍或御参内等之儀於准后者可被略、大納言殿可有御参之由治定、仍当年未能御参内、余無其期之条不可然之間、今日枉而准后御参云々、

※大納言殿…足利義尚 世務…政務 准后…足利義政

設問

一、史料①②を意訳せよ。

二、史料①②に共通する、足利義尚の性質についてまとめなさい。

Ⅱ 次に掲げる史料は、慶応三年(一八六七)六月、長崎代官高木作右衛門が勘定奉行所に提出した報告書である(ただし、一部加工を行っている)。この史料を読み、以下の問に答えなさい。

一、私御代官所、肥前国彼杵郡浦上村山里掛、間込郷の外、里郷平野宿、本原郷、中野郷、家野郷のもの共は、往古異宗信仰いたし候儀の処、先年御制禁以来は悉く改宗の上、同村浄土宗聖徳寺旦那にて、死人取出を始め、年季帰・仏參等の儀も都て相替儀は無御座候へども、内心異宗を密々信じ、悪弊兎角不相止、近年御開港に相成、異国船数艘来船、①万一相弘り候様にては不容易に立至候様訳を以て、安政三辰年九月中、其節在勤荒尾石見守、川村対馬守、隠密に取調べ、重立候もの召捕相成、其余の者共多人教吟味相成候処、全く先祖申伝に泥み、異宗とも不存密に信候段、心得違の段申立候に付、夫々入年村預けに相成、未だ落着無御座候、夫以来改心いたし、相慎居候処、異国人ども居留場へ礼拝堂取建、上御免許、右作事成就、一昨丑年頃より參詣いたし候ものも有之趣に付、(a)精々心付候得ども、不目の様取續ひ、可答廉も不相見候得ども、(中略)当卯正月に至候ては、物毎不押隠、異宗門信仰の儀を表通り打出し、日曜日には打連礼拝堂へ參詣いたし候杯、都て是迄と事替候様子に相見、甚心痛いたし、得と取調候<sup>(b)</sup>、三月十一日本原郷三八母たが、病死いたし候処、旦那寺聖徳寺引導を不請、一切旦那寺に不拘、自分共仲間にて埋葬いたし候様子に付、村役人共より差出候ても不聞入、勝手に取埋候に付、当人三八并弟藤十、庄屋宅へ呼出、心得違の段精々申諭候へども不聞入、剩へ右一郷は勿論、四郷のもの共も罷越、右は三八等西三人の事に無之、一統の者共も仏蘭西礼拝堂に罷在候僧侶の異国人教化に預り、(中略)檀那寺引導請候ては却て来世の妨に相成、魂助不申、夫段右の通取計候段挙て申立、拙も利害可行居形勢に無御座候段、私役所へ訴出候処、右は先年奉行所吟味掛りにて村預中のものに付、差出候儀申立候処、不容易一件に付、幾<sup>(c)</sup>も利害可申聞旨申談候未、調役安藤鈔之助、同役谷津勘四郎両人、私役所へ罷越候に付、私一同及利害候処、一旦承知の返答致候得共、②其後病死のもの共有之候節は前同様取計候に付、私役所へ親族のもの呼出相糺候処、一旦利害の趣承知とは申立候へども、後では後悔いたし候儀の旨申立候に付、其時に奉行所へ申立置候処、当六月十三日夜中、右鈔之助、勘四郎、同並小路手利五郎三人役々多人教召連、男女人教六十八人召捕、(b)村内に取建有之候礼拝堂体の処四ヶ所へ安置の仏像等取上げ、村預申付、纏付の上もの共連歸候処、本原郷、中野郷、家野郷、里郷の者ども多人教庄屋宅へ罷越、取上になり候仏像は異国人より借受居候間、為取戻罷越候旨申立、手々に取上に相成候仏像類持歸候得共、猶多人教のもの共庄屋宅より不立去候段訴出候に付、即刻私儀調役一同、同所へ出張、利害申聞取鎮置申候(中略)

卯

高木作右衛門

六月

御勘定所

公事方御中

\*荒尾石見守……長崎奉行 \*川村対馬守……長崎奉行

問一 傍線部①の「万一相弘り」とは、何が「相弘」ることを想定しているのか。史料内にある文言で答えなさい。

問二 波線部 a を読み下し文にし、主語や目的語などを補いながら現代語訳しなさい。

問三 波線部 b を読み下し文にし、主語や目的語などを補いながら現代語訳しなさい。

問四 傍線部②について、「前同様取計」とは、どのような行動のことを指すのか、史料から読み取れることを述べなさい。

問五 肥前国浦上村において慶応三年に発生した本事件は、安政三年の事件と比べて民衆側の動向にどのような違いがあると考えられるか、史料から読み取れることを述べなさい。

問六 江戸幕府が行ったキリシタン禁制の特徴について、島原・天草一揆以前・以後の変容にも言及しながら論じなさい。

Ⅲ 次に掲げた史料は、国立国会図書館憲政資料室所蔵「渡辺国武関係文書(その2)」2037の渡辺国武宛芳川顯正書簡(国立国会図書館デジタルコレクションで公開<https://dl.ndl.go.jp/pid/11610103>)を文字起こししたものである。

この史料を読み、後の問一〜四に答えなさい。解管用紙には、問の番号を書いて解答を書くこと。

拝啓 刻下炎尚甚愈々御清勝(乙) 奉謹賀候、却説、徳島県下ニ於客月二十二、三日來之暴風強雨ノ為、河水氾濫シ又海嘯或ハ山岳崩壞シ、人畜之死傷夥シク、為メニ田畑之荒蕪ニ歸シタルモノ香万町歩ニ近ク、沿海河岸十数里間ハ赤色ヲ呈シ一茎ノ青草タモ見ザルニ至ル。随テ被害ノ人民窮途ニ彷徨シ、公私ノ救助ヲ得テ僅ニ樓ノ如キ生命ヲ保テルモノ十数万ノ多キニ至レリトノ事ハ、已ニ地方長官ノ具申ニ依テ(イ) 御承知相成候事ト存候。固ヨリ徳島県ハ有名ナル水害地ニシテ毎歲其慘害ヲ蒙ルモノ尠カラザル事ニ(ロ) 候得共、今回ノ如キハ前古未曾有之出来事ト申伝候。且毎歲被ル所ノ水害ハ八、九月ノ交ニ多クシテ土用中ニ起ル如キハ未ダ曾聞カザルコトニ候ヘバ、速ニ八、九月ノ予想洪水ニ向テモ夫々堤防河岸ノ決壊スルモノヲ修理保繕シ、以テ予メ之ガ防禦ノ工ヲ施スルニアラザレバ、速カラザル中ニ於、又々極メテ悲惨ナル境遇ニ墜ルベキハ掌ヲ視ルガ如シ。依之該県知事ニ於テハ早急之ガ計画ヲ為シ、以テ政府ノ救済ヲ仰ガントシテ(エ) 上京被致、又地方有志ノ面々ニハ親シク諸公ニ謁シテ實際ノ情状ヲ具陳シ、只管其補助ヲ仰ガントテ数名出京被致候。然ルニ政府ニ於テハ変後早已ニ主務ノ官吏ヲ派遣シ実地ノ情状ヲ檢閲セシメラレ候趣候ヘバ、之ガ救済善後之策ヲ説明セラルベキハ疑ナキト恐察致候。(カ) 前陳出京有志等ハ定而専門ヲ叩キ哀願可致事ト存候間、御多忙中恐縮ニ候得共、右之有志等何候致候ハ、御引見、親シク實際ノ情状御聞取ノ上御賢慮ヲ勞セラレ、速ニ已ニ蒙リタル災害ヲ排除シ、又將ニ蒙ラントスルノ災害ヲ予防シ、以テ現在被害数十万ノ生靈ヲシテ稍々其堵ニ安シ業務ニ従事スルコトヲ得セシ(ムが脱か? 出題者注) ル様御尽力被成下度奉懇願候。

右ハ小生故山ノ変事ニ付其報ニ接スルヤ憂慮措ク能ハズ。直ニ閣下ニ謁ヲ乞ヒ歎願可致ト

存候処、頃来臥病尚外出ヲ憚リ第居中<sup>(ア)</sup>、不得已御手楮左右へ送呈致候。殊ニ閣下へ我徳  
島県ニ會テ令タリシノ故ヲ以、右之情状特ニ御熟知之事ト存候へバ此際<sup>(イ)</sup>、偏ニ御尽力被  
下度希望ニ不堪候。

拝具

八月十二日

芳川 颯正

大蔵大臣 渡辺 国武殿

問一、傍線部 (ア) ～ (カ) の読み方 (発音) をひらがな、現代仮名遣いで書きなさい。

解答の冒頭に (ア) ～ (カ) をそれぞれ記すこと。

問二、太い傍線部 (a) を現代語に訳しなさい。

問三、史料から読み取れることを書いた次の文 A ～ D について、正しいものには○、誤っ  
ているものには×を書きなさい。解答にはそれぞれのアルファベットを書き、その下に○  
か×を記すこと。

- A 徳島県で暴風雨による災害が発生し、人や家畜、農地に被害が発生した。
- B 徳島県は本来なら水害が少ない土地である。
- C 八月、九月に洪水が起こることが予想されている。
- D 政府はまだ被災地の現地調査を実施していない。

問四、この書簡が書かれた年代を推定するため、あなたなら書簡に書かれているどのよう  
な点を手がかりとし、どのようにして調べるか。書きなさい。

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 修士課程 >

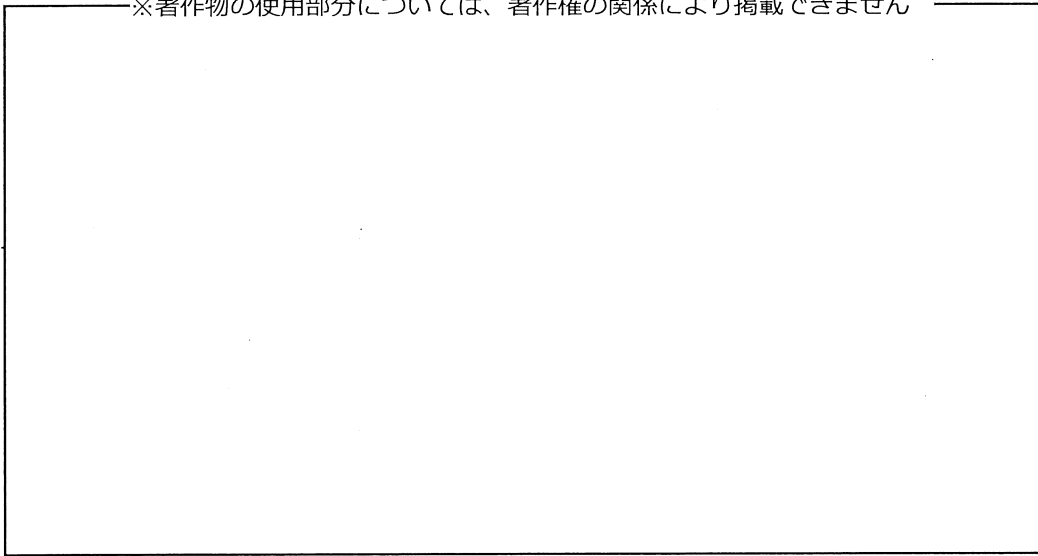
史学専攻 ( 専門科目・西洋史 )

2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題

I. 世界史上に生じた様々な文化現象(運動)から任意のひとつを選び、その生成や発展のさまをまとめなさい。

II. Operetta (オペレッタ・軽歌劇) について書かれた以下の英文を全訳しなさい。

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

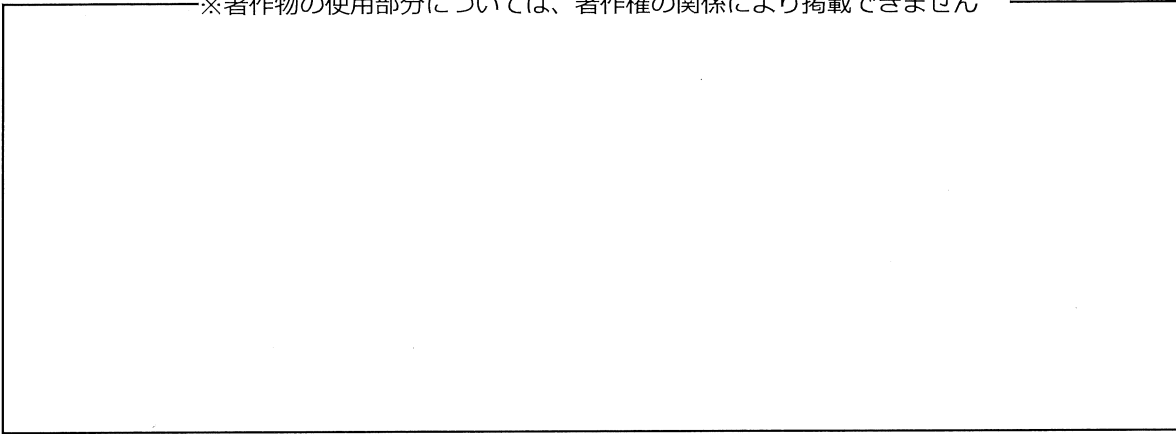


注 ヨハン・シュトラウス2世  
『こうもり』

日本史コースの受験生は大問 I を、西洋史コースの受験生は大問 II を選択しなさい。

I. 英文AおよびBを読み、以下の問いに答えなさい。

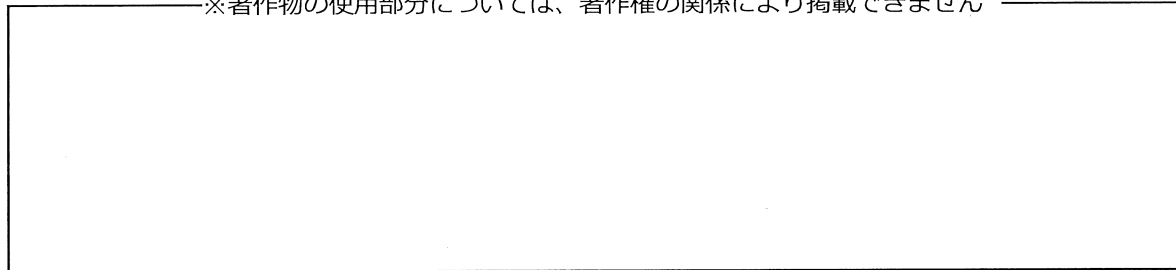
※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



( 出典 : Jesse Pittard, *Exploring Chinese and Japanese Cultures: 800 BCE to 1250 CE*, 2020, p. 101. )

注 isness あり方  
infallible 完全無欠な

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



( 出典 : Wybe Kuitert, *Themes, Scenes, and Taste in the History of Japanese Garden Art*, 1988, p. 211. )

注 Kobori Enshū 小堀遠州  
Matsuya 松屋

問 1 英文Aの下線部 ( 1 ) を日本語に訳しなさい。

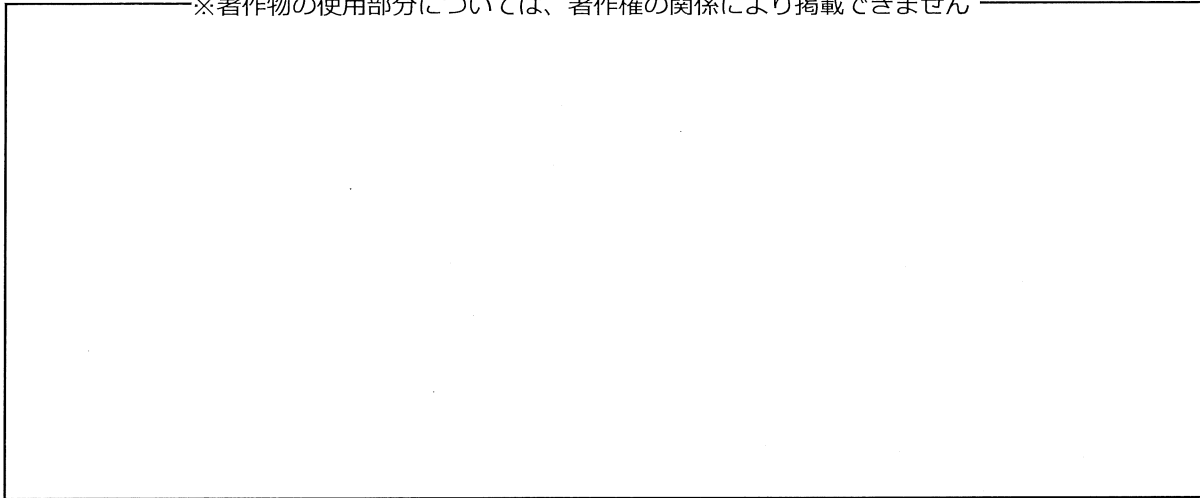
問 2 英文Aの文中から侍が克服すべきものを一つ挙げて、漢字で書きなさい。

問 3 英文Aの下線部 ( 2 ) について、侍が武士道を追求する上で役立ったものとは、何と何の融合か。  
日本語で答えなさい。

問 4 英文Bをすべて日本語に訳しなさい。

II. 以下の英文をすべて日本語に訳しなさい。

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



(出典 : Susan Ware, *American Women's History: A Very Short Introduction*, 2015, pp. 101-102.)

注 Brown v. Board of Education ブラウン対教育委員会事件  
Rosa Parks ローザ・パークス  
Reverend Martin Luther King Jr. マーティン・ルーサー・キング牧師  
tellingly 示唆的なことに

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 修士課程 >

史学専攻 外国語（ドイツ語）

2026(令和8)年度 (2月期) 入学試験問題

以下の独文を全訳しなさい。

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



(出典：Wolfgang Stürner, 13. Jahrhundert 1198-1273, Klett-Cotta, 2007, 136-137)

注 Zisterzienser：シトー会修道士  
Zisterzienserin：シトー会修道女

受験番号

I 以下のキーワード(1~4)について、それぞれ200字以上400字以内で説明しなさい。5については設問文に従うこと。(14点×5問=70点)

1. 自己開示とジョハリの窓
2. ハロー効果
3. 沈黙の螺旋理論
4. 文化的自己観

5. 以下は、「ネットショッピング依存傾向尺度」(池田, 2016)の因子分析から一部を抜粋したものです。この結果を基に各因子を命名し、因子の特徴を説明しなさい。

項目	F1	F2	F3
ネットショッピングに費やす時間が原因で、学校の成績や仕事の成果に悪影響が出たことがある	.93	.05	-.11
ネットショッピングに夢中になり、家事や食事をおろそかにしたことがある	.78	-.07	.12
少しでもネットショッピングをするために、日常的に睡眠時間を削っている	.66	.03	.15
ネットショッピングに長時間はまっていたことを、人に隠そうとしてしまう	.62	.28	.01
他に何かするべきことがある時ほど、ネットショッピングを使用してしまう	.56	.27	.06
ネットにつながってない時に、ネットショッピングをしていることを空想したりすることがある	.00	.95	-.07
ネットショッピングの楽しさを空想し、現実の問題を頭から閉め出そうとすることがある	.03	.94	-.06
ネットショッピングをしていないと気分が落ち込み、イライラする	.12	.73	.03
ほかの人と出かける代わりに、ネットショッピングをするほうを選んだことがある	.03	.52	.21
ネットショッピングを利用している時に、「あと2、3分だけ」と言い訳することがある	-.08	.16	.80
ネットショッピングの利用時間を短くしようとして、できなかったことがある	-.03	.12	.76
思っていたよりも長くネットショッピングをしていた経験がある	.19	-.23	.68
因子間相関	F1	.74	.65
	F2		.61

表は以下の資料を基に作成した。

池田 裕美 (2016). ネットショッピング依存傾向尺度の作成—尺度の開発と信頼性・妥当性の検討—  
日本社会心理学会第 57 回大会発表論文集 0201-6.

II 修士論文の研究計画について、200字以内で概括しなさい (II-1)。また、その研究の社会心理学の理論との関連および学術的意義について、400字以上800字以内で説明しなさい (II-2)。(合計30点)

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 博士前期課程 >

社会文化学専攻 人間関係研究領域 ( 専門科目 )

2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題 (社会学)

受験番号

I 以下のキーワードについて、それぞれ200字以上400字以内で説明しなさい。(14点×5問=70点)

1. 家事労働
2. 半構造化面接法
3. 人口転換
4. 社会階層の閉鎖性
5. マクドナルド化

II 修士論文の研究計画について、200字以内で概括しなさい (II-1)。また、その研究の社会学の理論との関連および学術的意義について、400字以上800字以内で説明しなさい (II-2)。(合計30点)

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 博士前期課程 >

社会文化学専攻 人間関係研究領域 ( 専門科目 )

2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題 (文化人類学)

受験番号

I 以下のキーワードについて、それぞれ 200 字以上 400 字以内 で説明しなさい。(14 点×5 問=70点)

1. 互酬性
2. フィールドワーク
3. 平行イトコ
4. ホストとゲスト
5. 祖先崇拜

II 修士論文の研究計画について、200字以内で概括しなさい (II-1)。また、それらの研究の文化人類学の理論との関連、学術的意義について、400字以上800字以内で説明しなさい (II-2)。(合計30点)

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究科 < 博士前期課程 >

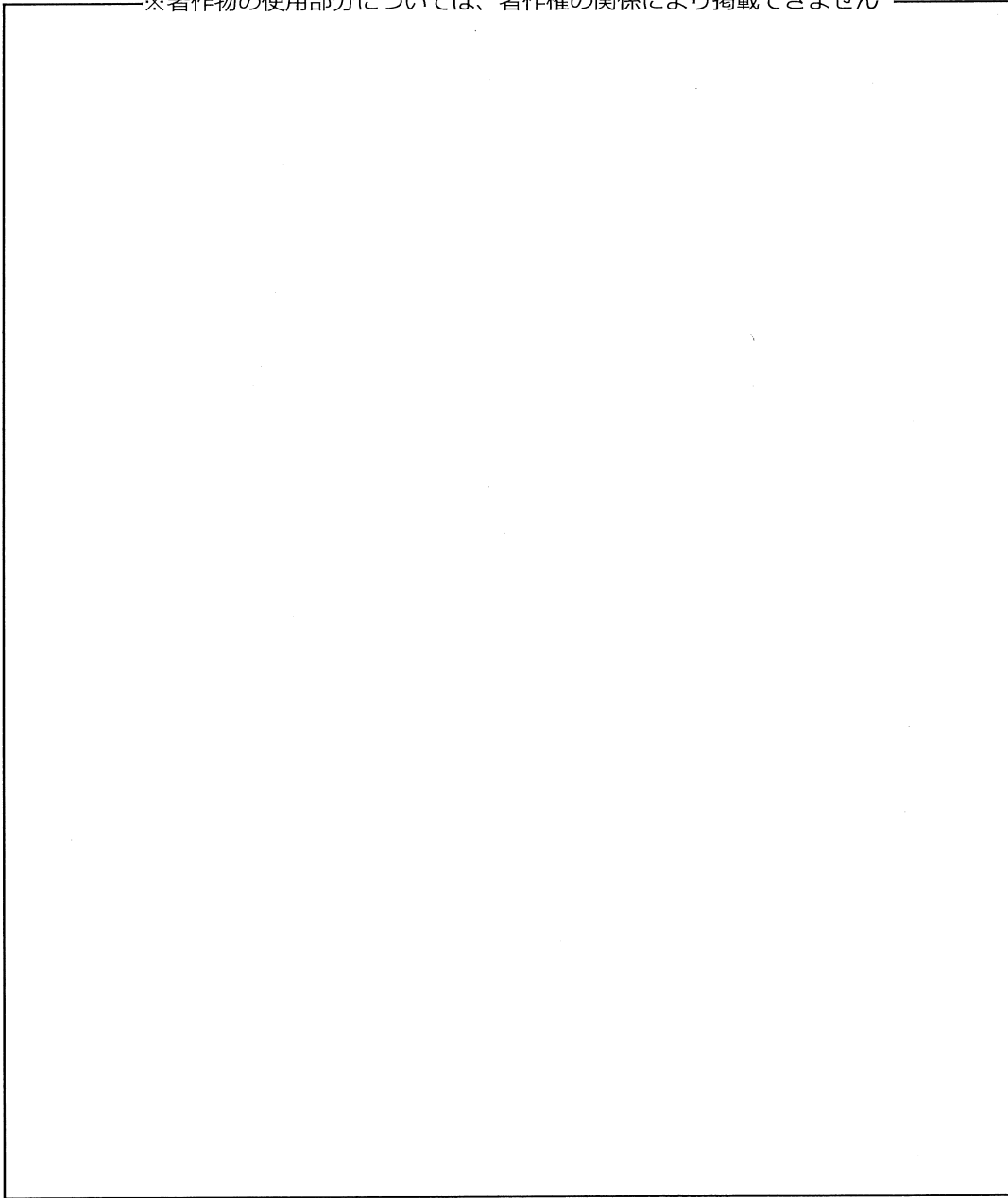
社会文化学専攻 (人間関係領域) 専攻 (外国語 英語)

2026(令和8)年度 (2月期) 入学試験問題

受験番号

問 以下の英文は “1,000-year-old horse riding festival throws out gender rules” という見出しの新聞記事である。写真のキャプションを除く全文を和訳しなさい。

—※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません—



聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 博士前期課程 >

社会文化学専攻 (人間関係領域) 専攻 (外国語 英語)

2026(令和8)年度 (2月期) 入学試験問題

受験番号

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

出典: The Asahi Shimbun, May. 26. 2025 Asia & Japan Watch(1,000-year-old horse riding festival throws out gender rules)

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究科 <博士前期課程>  
社会文化学専攻比較文化研究領域 ( 専門科目 ) 選抜区分 ( )  
2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題

1. AI (人工知能) が、今後、ジャーナリズムのあり方に及ぼし得る変化を 1 つだけ取り上げ、①それは AI のどのような機能がもたらす変化か、を説明したうえで、②それが社会に対して(ジャーナリズムに対して、ではない)どのような影響を与える可能性があるか、について、400 字程度で論述しなさい。
2. 自分が研究を計画していることがらについて、以下の点に答えなさい。
  - (1) 研究のテーマ(タイトル風に簡潔に)
  - (2) それを研究することの意義(100 字程度)
  - (3) その分野のこれまでの代表的な研究とその概要 (200 字程度)
  - (4) 自身の研究方法と研究計画(600 字程度)

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究科 <博士前期課程>

社会文化学専攻（比較文化領域） 外国語（英語） 一般

2026(令和8)年度 (2月期)

入学試験問題

問1 資料にある英文記事の全文を読み、要点が何であるかを考え、400字以上600字以内の日本語の文章に要約しなさい。

資料出典：

Otake, Tomoko. "Tracing the family tree: Roots tourism gains traction in Japan". The Japan Times. 4 January 2026.

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 <博士前期課程>

社会文化学専攻 (比較文化領域) 外国語 (英語) 一般

2026(令和8)年度 (2月期) 資料

p.1

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 <博士前期課程>

社会文化学専攻（比較文化領域） 外国語（英語） 一般

2026(令和8)年度 (2月期) 資料

p.2

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

【問題 1】

資料1は、公益財団法人日本財団が継続的に実施している「18歳意識調査（6カ国調査）」の結果から作成したものである。調査は、日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの各国の男女1,000名を対象に、インターネットを活用して実施された。グラフでは、「学校で勉強をする意味として、あなたが最も重視してきたものを3つまで選択してください（複数回答3つまで）」という設問への回答として、多くの国で上位にきた3つの項目と、国ごとの回答傾向比較したときに特徴的な様相が見られた2つの項目、加えて「特にない」という項目の計6つを取り上げ、各国の回答割合が示されている。

(1) 資料1から、日本の学校における勉強（学び）についてどんな課題が読み取れるか。簡潔に説明しなさい。

(2) (1)で読み取った課題の背景にある様々な要因を明らかにし、解決の指針を得るために、あなたの興味関心や立場から研究を進めるとしたらどのようなことが考えられるか。解答用紙の範囲内で説明しなさい。

【問題 2】

次の用語及び人名から3つを選び説明しなさい。また、その用語の持つ教育的背景について、重要と思うことを解説しなさい。

1. 多文化共生保育
2. 体験格差
3. コミュニティ・スクール
4. 幼保小の架け橋プログラム
5. カリキュラム・マネジメント
6. ルソー

【問題 3】

資料2を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料2にある筆者の主張を、解答用紙の範囲内で要約しなさい。
- (2) 資料2にある筆者の主張を踏まえて、「教員はサービス業である」という意見に対するあなた自身の考えを、解答用紙の範囲内で記述しなさい。

出典：

資料1 「18歳意識調査 「第62回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-」 報告書, 2024年4月3日,  
日本財団

[https://www.nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/new\\_pr\\_20240403\\_03.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/new_pr_20240403_03.pdf)

(資料1グラフは調査結果数値をもとに作問者作成。「ランク外」とあるものは、その項目がその国の回答割合の上位10項目に入っていないことを意味する)

資料2 鈴木大裕『崩壊する日本の公教育』（集英社、2024年）pp. 28-35より抜粋

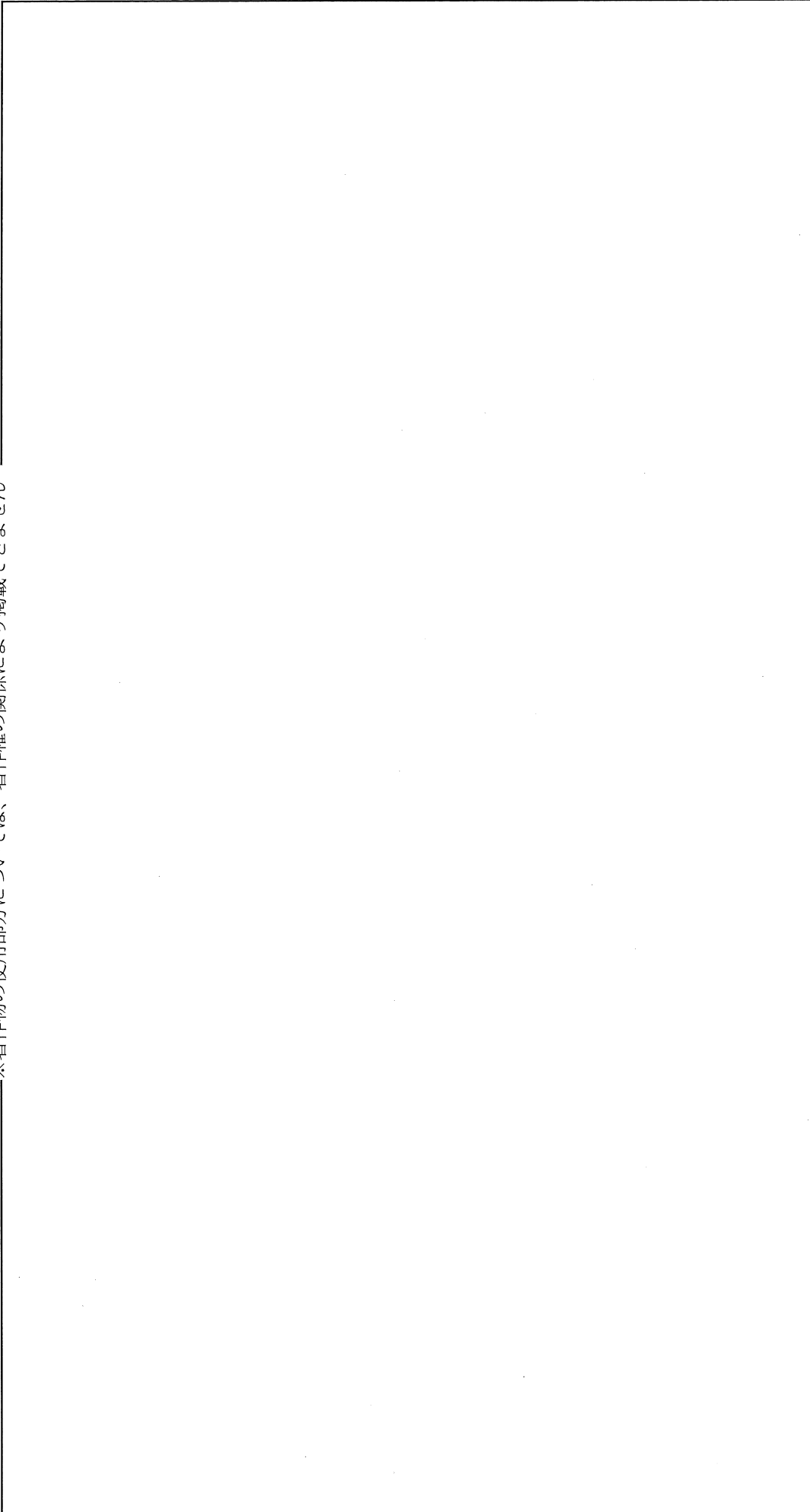
資料1

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



出典：「18歳意識調査 「第62回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-」 報告書，2024年4月3日，  
日本財団  
[https://www.nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/new\\_pr\\_20240403\\_03.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/new_pr_20240403_03.pdf)  
(資料1グラフは調査結果数値をもとに作問者作成。「ランク外」とあるものは、その項目がその国の回答割合の上位10項目に入っていないことを意味する)

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

出典：鈴木大裕『崩壊する日本の公教育』（集英社、二〇二四年）二八・三五頁より抜粋

資料は、ミュージアムのような学校外の学習環境における学習に焦点を当てたレビュー論文“Informal Learning in Museums.”から「ミュージアムにおける家族の学習」に関して述べた部分を抜粋したものである。

問1. 下線部(a) および(b)を日本語に訳しなさい。

問2. 下線部(c)の具体例として、「子どもに対する親の働きかけ(行為)」と「その働きかけが子どもにとってどのような学びの結果(意味)をもたらしたか」を述べた部分が第2段落および第3段落の中にある。そのいずれかを要約し、日本語で回答しなさい。

問3. 下線部(d)“These two strategies”とは具体的に何を指し示すか。それぞれの内容として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で回答しなさい。

【strategy 1】

- ア 協調活動を徐々に増やしていくと同時に、グループ内で課題を共有しながら制限時間内に問題が解決できるようにデザインする方略。
- イ 協調活動を増加させるようデザインされ、グループで共有された問題を解決していくよう、早い段階からメンバーを巻き込んでいく方略。
- ウ 協調活動を減少させるようデザインされ、グループで共有された問題を解決していくよう、早い段階からメンバーを巻き込んでいく方略。
- エ 協調活動を徐々に減らしていくと同時に、グループで共有された課題も最終的には個人で解決できるよう親が足場かけをする方略。

【strategy 2】

- ア 目標が共有されたゲーム群、個別のコントロールができる群のいずれかに家族を割り当てた研究の中でその効果を検証する方略。
- イ 経験ある学芸員にガイドされながら展示を見る群、サポートやガイドを何も提供されない群のいずれかに家族を割り当てる方略。
- ウ 何か価値あるものを学んでいる際に、個人がグループのメンバーを自身の価値観に巻き込んでいく方略。
- エ 何か価値あるものを学んでいる際に、個人がグループのメンバーをコントロールすることができる方略。

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究科 < 博士前期課程 >

人間科学専攻 教育研究領域 (外国語)

2026(令和8)年度 (2月期) 入学試験問題

問4. 下線部(e)に関する研究結果を述べた部分を同じ段落内から探し、要約して日本語で回答しなさい。

\*<sup>1</sup> distributed system 分散システム

\*<sup>2</sup> zone of proximal development 発達の最近接領域

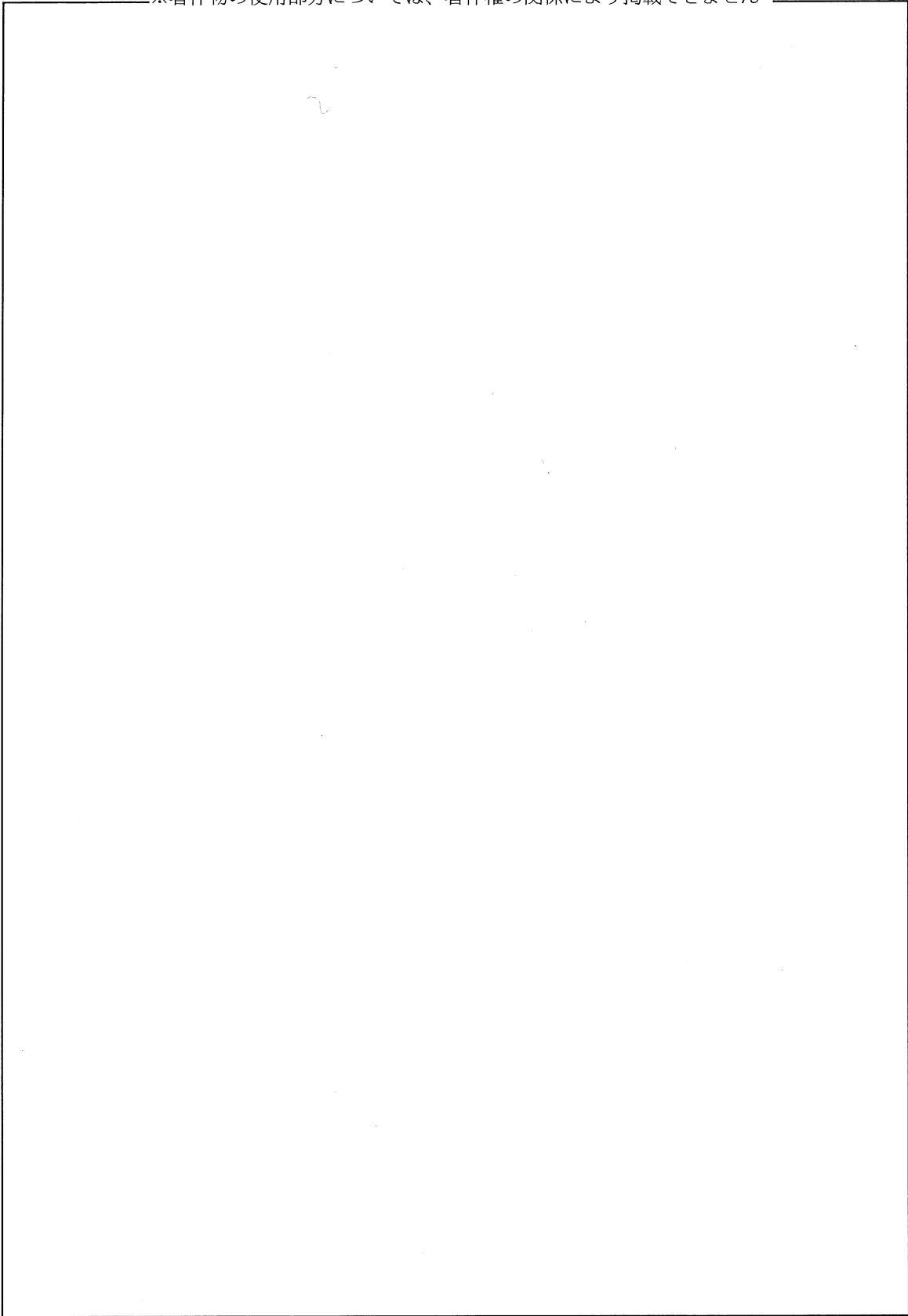
\*<sup>3</sup> scaffolding 足場かけ

\*<sup>4</sup> discovery and inquiry-based approaches 発見学習や探究型アプローチ

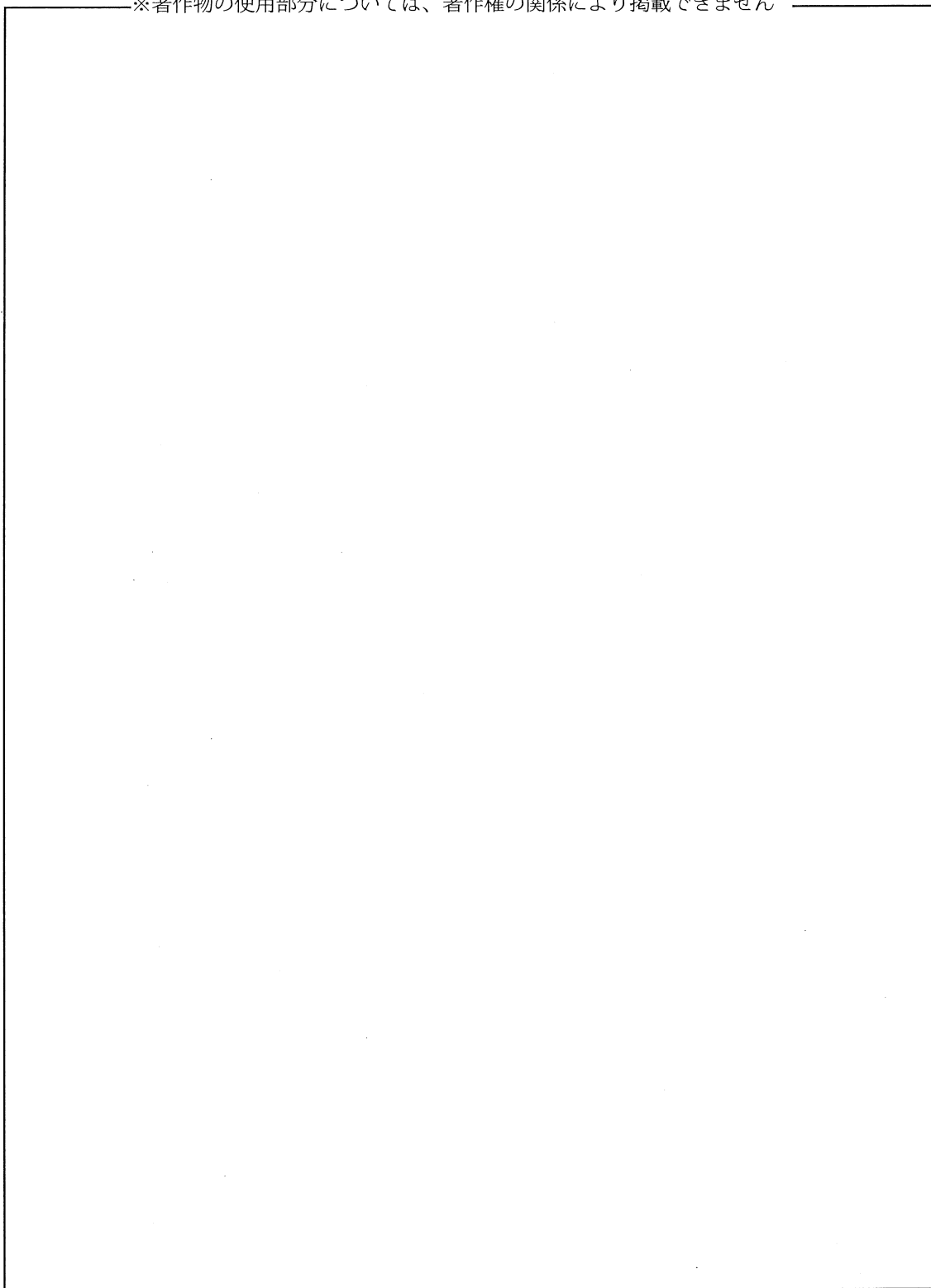
(出典)

Crowley, Kevin. et al. (2014) Informal Learning in Museums. Sawyer, R. Keith ed. *The Cambridge Handbook of the Learning Sciences. Second Edition.* pp. 461-478, Cambridge University Press.

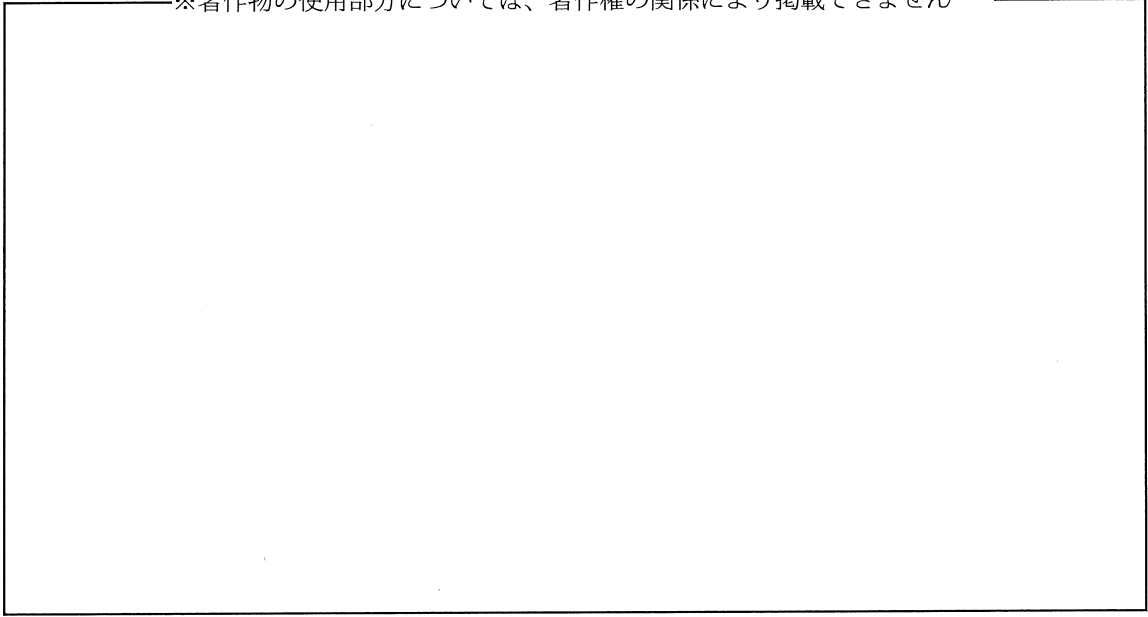
※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究所 < 博士前期課程 >  
人間科学専攻「臨床心理学研究」領域 ( 専門科目 )  
2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題

【問題1】 次の(1)～(4)の用語について、その意味を簡潔に説明しなさい。(各10点, 合計40点)

- (1) 認知資源
- (2) 概日リズム
- (3) P-Fスタディ
- (4) 合理的配慮

【問題2】 次の(1)と(2)についてそれぞれ解答しなさい。(各30点, 合計60点)

- (1) 斜視とは何かを説明し、子どもの斜視における問題点とその対策について述べなさい。
- (2) プレイセラピーとは何か。また、あなたがプレイセラピーを行うとするならば心がけたいと思う点について、具体的に述べなさい。

聖心女子大学 大学院 人文社会科学研究科 < 博士前期課程 >  
人間科学専攻「臨床心理学研究」領域 ( 外国語 (英語) )  
2026(令和8)年度 ( 2月期 ) 入学試験問題

【問題 1】 [資料 1] の文を読んで、次の問いに答えなさい。

問 1 (各10点, 合計30点)

- (1) 下線部①を和訳しなさい。
- (2) 下線部②を和訳しなさい。
- (3) 下線部③を和訳しなさい。

問 2 (20点)

[資料 1] の文章を読んで、あなたなりの考えを述べなさい。

【問題 2】 [資料 2] の文を読んで、次の問いに答えなさい。

問 1 (各10点, 合計30点)

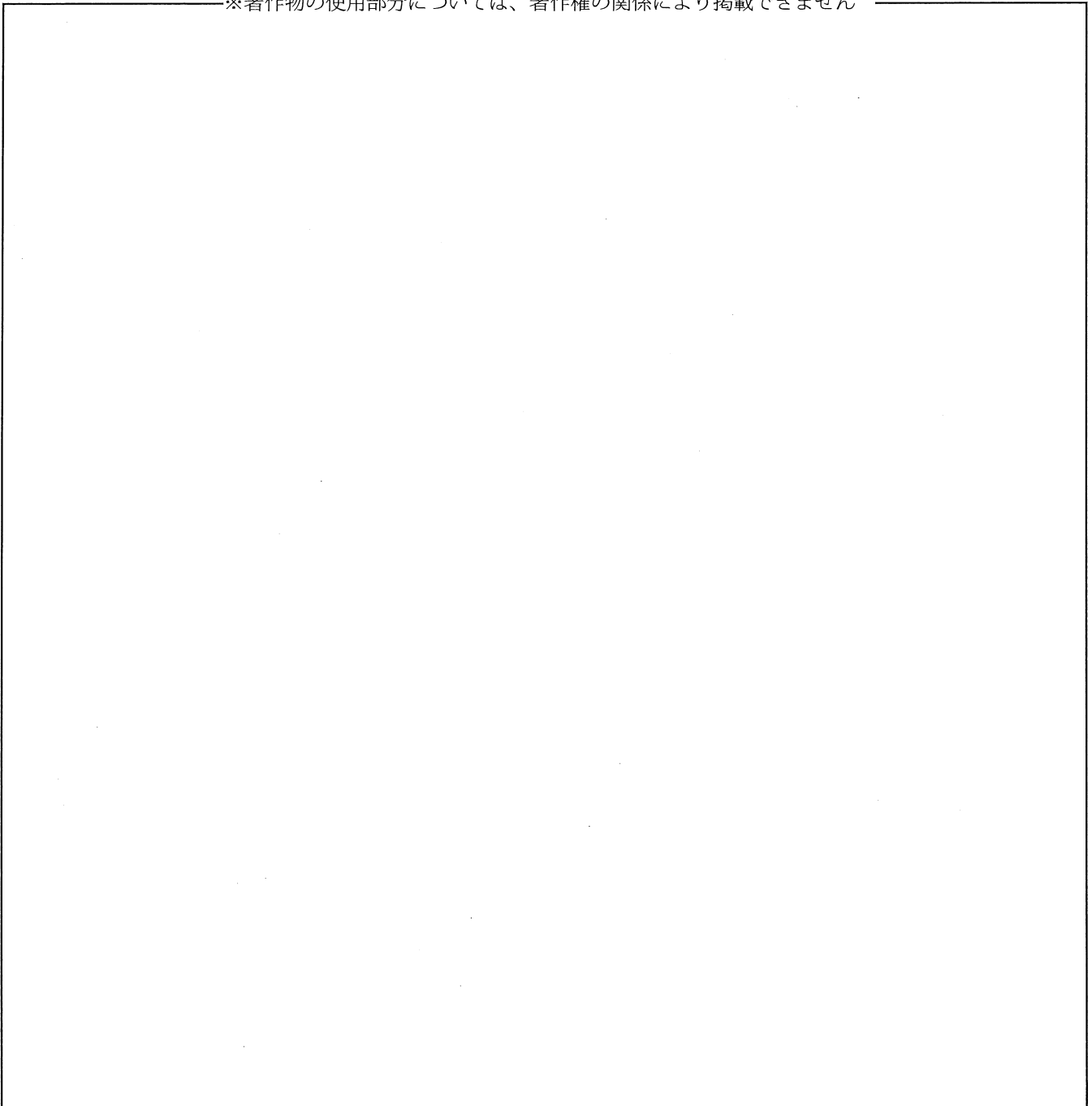
- (1) 下線部①を和訳しなさい。
- (2) 下線部②を和訳しなさい。
- (3) 下線部③を和訳しなさい。

問 2 (20点)

[資料 2] の文章を読んで、あなたなりの考えを述べなさい。

[資料 1]

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

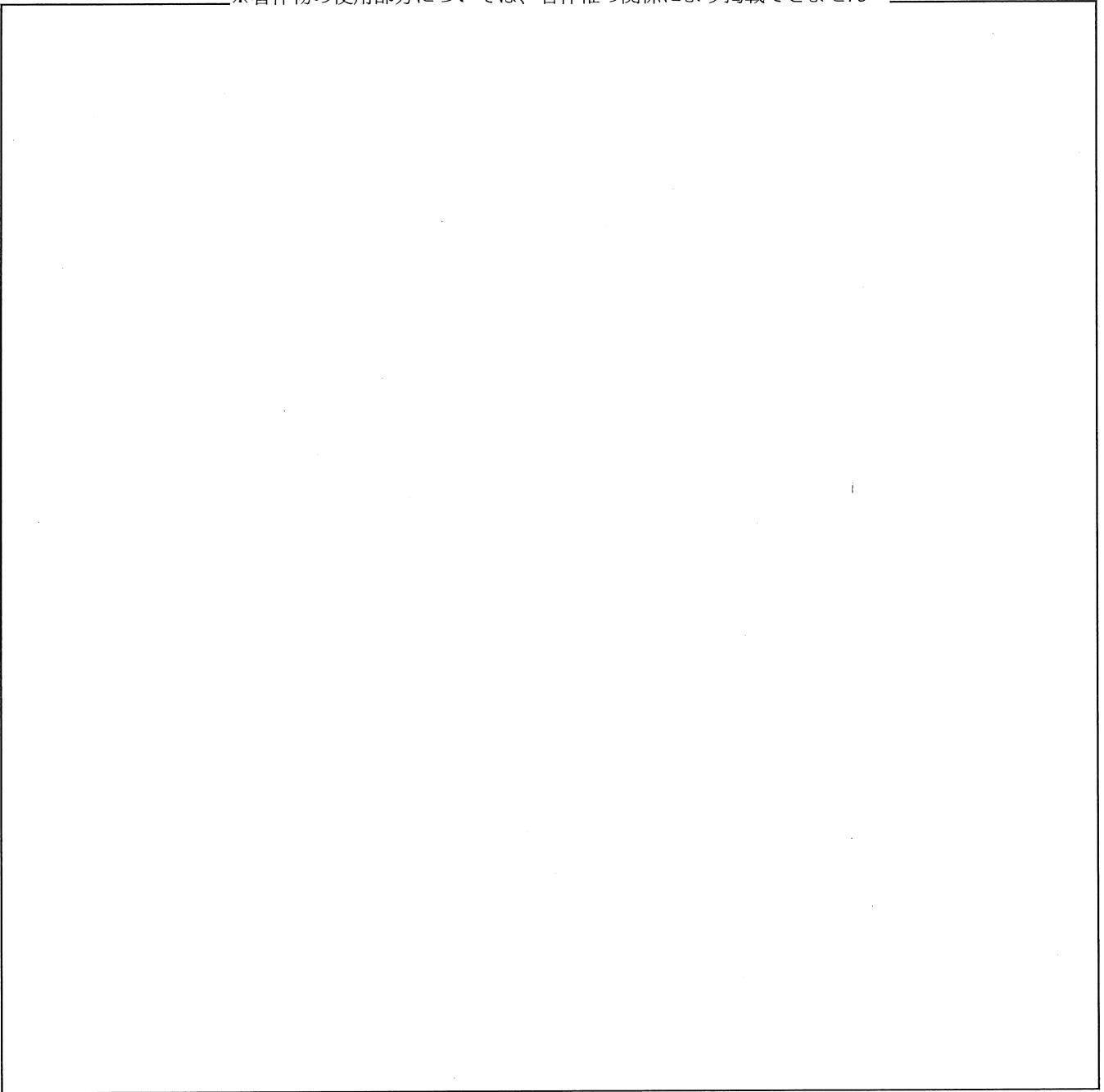


出典：

Orben, A., Przybylski, A.K., Blakemore, S., & Kievit, R.A. (2022). Windows of developmental sensitivity to social media. NATURE COMMUNICATIONS (2022) 13:1649 <https://doi.org/10.1038/s41467-022-29296-3> より一部改変

[資料 2]

※著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません



出典：

Wachtel, P. L. (2011). Therapeutic communication: Knowing what to say when. Guilford Press. より一部改変